

病害虫発生予察情報

向こう1ヶ月（7月）の予報

平成25年度 予報第3号

東京都病害虫防除所

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel. 042-525-8236 Fax. 042-529-0943

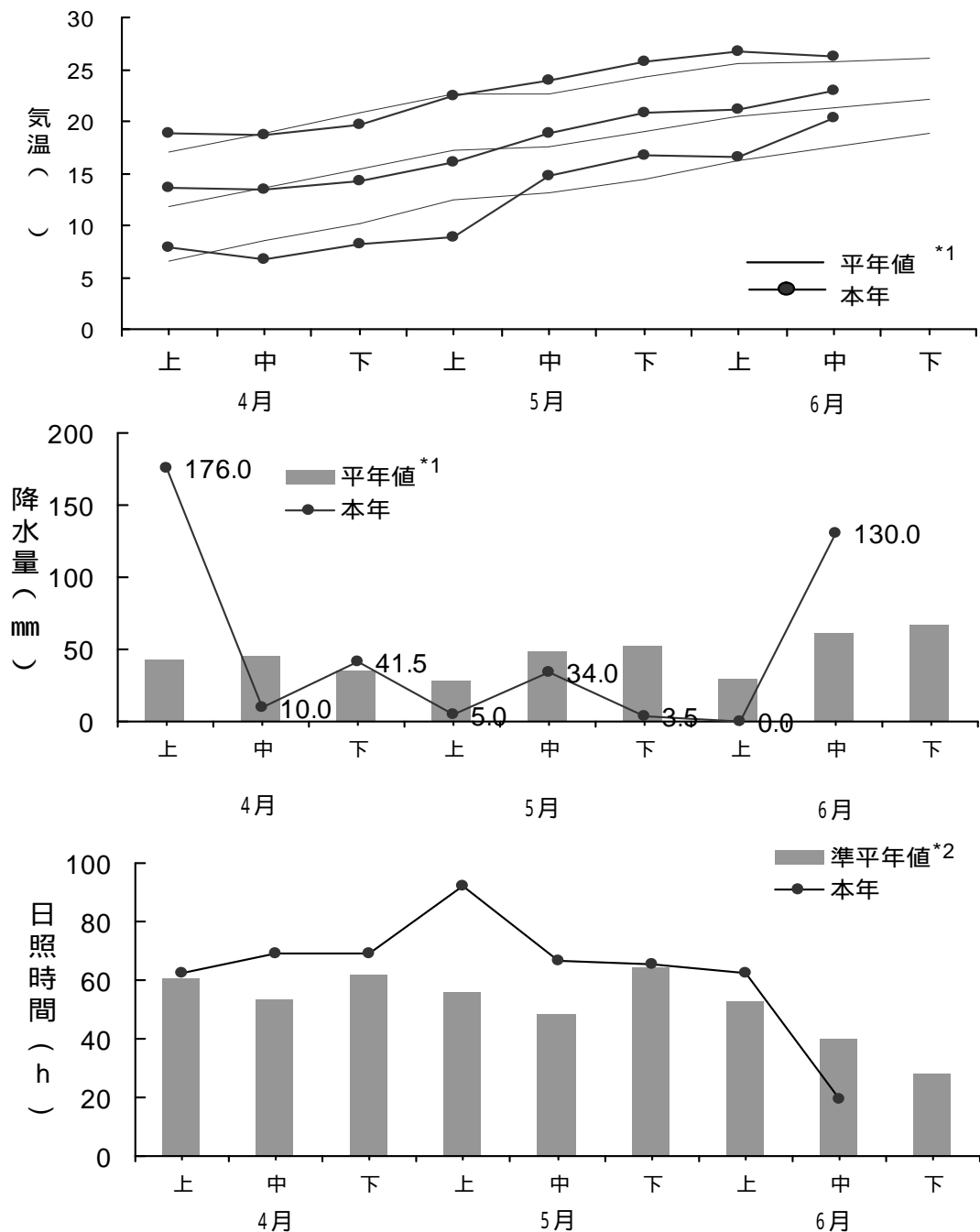
<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】平成25年6月21日 気象庁 地球環境・海洋部発表，関東甲信地方の1か月予報より

確 率	要 素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気 温	20	40	40
	降 水 量	30	40	30
	日照時間	30	40	30

【気温・降水量・日照時間の経過】 平年値及び準平年値と本年の6月中旬までのデータを示した。（東京都府中市 気象庁気象観測所データ）



*1：1981-2010の平均値，*2：1987-2010の平均値

トマトのアザミウマ類、うどんこ病の発生が多くなっています！

アザミウマ類

果実の白ぶくれ症を引き起こすだけでなく、ウイルス病（黄化えそ病）も媒介します。今後、気温の上昇に伴い、活動が更に活発になるため、防除時期を逃さないよう圃場を観察し、発生を見逃さないようにしましょう。

うどんこ病

多発すると防除が難しくなるため、発生を認めた圃場では罹病葉を除去し、菌密度を下げてから防除指針を参考に速やかに防除を実施しましょう

【病害虫発生予報】（各根拠に記した()内記号は発生助長要因の強度を示す）

・イネの病害虫

1. いもち病（葉いもち）

予報内容

発生時期 並

発生量 少

予報の根拠

1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)

2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

1) 発生を認めたら防除指針に従い防除する。

2) 補植用苗は放置すると本病の伝染源となるので、早めに処分する。

2. ニカメイガ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)

2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

1) 防除指針に従い防除する。

3. セジロウンカ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)

2) 予察灯への成虫の飛来は少ない。(-)

3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

1) 防除指針に従い防除する。

4. イネミズゾウムシ

予報内容

発生量 少
予報の根拠

- 1) 昨夏の発生は少なかった。(-)
- 2) 巡回調査では、各地とも発生量はやや少ない。(-)
- 3) 予察灯調査では、誘殺数は少ない。(-)
- 4) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

5. 斑点米カメムシ（アカヒゲホソミドリカスミカメ）

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 圃場周辺のスーピング調査では各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 予察灯調査では、誘殺数は平年並みである。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 畦畔や水田周辺の樹木園の雑草の草刈りを行う。

果樹の病害虫

1. ナシの黒星病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並みである。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

2. ナシのアブラムシ類

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、被害新梢率はやや多い。(+)
- 2) 今後、増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。
- 2) ワタアブラムシは有機リン系薬剤に対して抵抗性を生じている場合が多いのでローテーション散布を行う。

3. ナシのハダニ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生は少ない。(-)
- 2) 今後、増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想さ

れる。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。
- 2) 薬剤防除は抵抗性を生じやすいのでローテーション散布を行う。

4. 果樹共通 カメムシ類(チャバネアオカメムシ・クサギカメムシ)

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) フェロモントラップおよび予察灯への飛来数は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 今後も園内を見て回り、早期に飛来状況を把握する。
- 2) 多目的防災網の設置や袋がけなどで果実への加害を予防する。
- 3) 飛来数が多い場合は防除指針に従い防除する。

. 茶樹の病害虫

1. ハマキムシ類(チャノコカクモンハマキ)

予報内容

発生量 多

予報の根拠

- 1) フェロモントラップによる調査では、誘殺数はやや多い。(+)
- 3) 今後、増加期に当たる。(+)
- 4) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

. 野菜の病害虫

1. キュウリべと病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。
- 2) 梅雨期に降雨が続くと急激に蔓延するので、初期防除を的確に行う。

2. キュウリうどんこ病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、施設栽培における発生は平年並であるが、露地栽培ではやや少ない。(±)
- 2) 栽培後期に多発する傾向がある。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想さ

れる。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 梅雨明け後に急激に蔓延するので防除が手遅れにならないよう注意する。
- 2) 下葉に発生する初期病斑に留意し、防除指針に従い防除する。

3. トマト葉かび病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、施設、露地栽培とも発生は少ない。(-)
- 2) 栽培後期に多発する傾向がある。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

4. コマツナ炭疽病(露地栽培)

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 梅雨の終期に降雨が連続し、気温が上昇すると発生が多くなる。
- 2) 防除指針に従い防除する。

5. トマトのアザミウマ類(果実の白ぶくれ症)(露地)

予報内容

発生量 多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生はやや多い。(+)
- 2) 今後、増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針を参照する。

6. ネギのネギアザミウマ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 今後、増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を認めたら防除指針に従い防除する。
- 2) アブラナ科野菜や果樹、花卉類など幅広く加害する。

7. アブラナ科作物のコナガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) フェロモントラップによる誘殺数はやや少ない。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 被覆資材などを利用した防除法を活用する。
- 2) アブラナ科の各野菜ごとに防除指針に従って防除する。
- 3) 薬剤抵抗性の出現に注意して、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。
- 4) 収穫残渣は速やかに埋設するなどの処理を行う。

8. 果菜類・スイートコーン（露地栽培）のアブラムシ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 今後、増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を見たら防除指針に従い薬剤を散布する。

9. スイートコーン（露地栽培）のアワノメイガ、アワヨトウ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 今後、増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生をみたら防除指針に従い薬剤を散布する。

10. 果菜類共通 オオタバコガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、露地栽培トマト、ナスでの発生は少ない。(-)
- 2) フェロモントラップ調査では、誘殺数は少ない。(-)
- 3) 今後、増加期に当たる。(+)
- 4) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を見たら防除指針を参照して薬剤を散布する。
- 2) 穴あき果や虫糞に注意し、見つけたら放置せず捕殺する。

11. 果菜類共通 チャノホコリダニ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 今後、増加期に当たる。(+)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量及び日照時間は平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) ナスやピーマンではへたや茎の褐変症状に注意し、発生を見たら発生初期に防除指針を参照して薬剤を散布する。

インターネット上の防除所ホームページ
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予報，発生状況，防除方法
などをお知らせしています。

農薬に関する詳しい情報は，農林水産省ホームページの
「農薬コーナー」をご覧ください。

(<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>)